株式会社 Motrino

部屋番号 W302 **号室**

As of 2026年9月30日

本社住所	神奈川県横浜市緑区4259-3 Science Tokyo 横浜ベンチャープラザ W302					
代表者	Ivan Araujo Dayrell	**設立**	2026年2月	**資本金**	1,000	**千円**
経営理念	当社の企業理念は "Powering a Better World" です。地球環境を尊重し大切にすることを、最優先の課題としています。人間社会と自然環境の双方に積極的かつ適切な影響を与え、より幸せで可能性に満ちた社会の実現に取り組みます。この思いは、私たちの行動の根底にあります。					
業種分野	エネルギーデバイス					
連絡先	045-924-5400		**ＨＰアドレス等**			

事業内容のご紹介

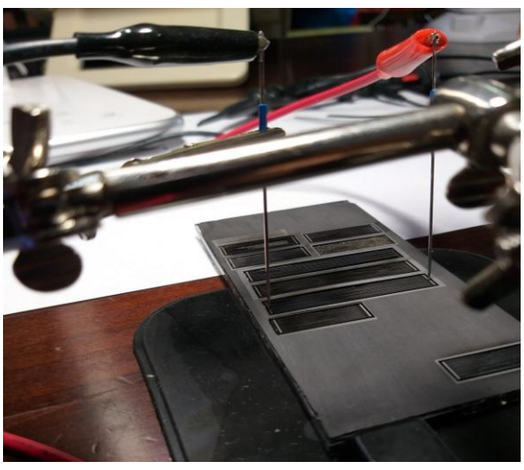
従来のスーパーキャパシタの最大の弱点であるエネルギー密度を改善した、次世代スーパーキャパシタを開発しています。

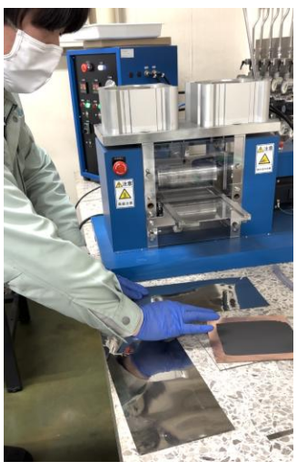
ＰＲポイント

・市場ニーズ:携帯電話、小型家電、IoTデバイス、スモールモビリティなど、小型蓄電デバイスの需要はあらゆる分野に存在します。
・既存技術の課題:Liイオン電池には、充電時間、充放電サイクル数、コスト、環境負荷の面で課題があります。
・当社の強み:当社のスーパーキャパシタは、急速充電、10万回以上の充放電サイクル、低コスト、環境負荷の低さ、大電流対応といったキャパシタの優位性に加え、従来のキャパシタを大きく上回るエネルギー密度を実現します。これによりLiイオン電池の一部を代替し、電池とのハイブリッド利用も拡大していきます。

製品・サービスイメージ

・当社の技術の革新性は、グラフェンインクの印刷と多層積層により、従来のスーパーキャパシタを大きく上回るエネルギー密度と総蓄電エネルギー量を、レアメタルフリーかつ低コストで実現する点にあります。
・東京科学大学 林研究室と、グラフェンと印刷技術を融合した多層構造の構築・評価で連携しています。今後は日本の中小企業(電極バインダー材料、大面積印刷技術)とともに、プロトタイプの製造を目指します。





(左図) 製造中のスーパーキャパシタキャパシタ(パッケージング行程)
(右図) 印刷技術を利用したスーパーキャパシタの製造プロセス

代表者メッセージ

低コストで大量生産が可能なスーパーキャパシタの開発に向けて、国際的なメンバーでチームを組み、横浜を拠点に開発・研究を行っています。地球環境を大切にする企業理念のもと、次世代の蓄電デバイスを通じて、より持続可能な社会の実現に貢献してまいります。